



いつも新しい流れがある 市川

令和6年2月27日

報道関係者各位

市川市教育委員会
生涯学習部長 板垣 道佳

シンポジウム『姥山貝塚の5体の人骨の謎に迫る』の開催について

姥山貝塚で発見された5体の人骨については多くの謎に包まれています。

このたび、自然人類学の研究成果や最新のDNAによる分析結果から、新たな解釈の可能性を探るシンポジウムを下記のとおり開催いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 日時

令和6年3月10日(日)13時～16時30分

2. 場所

メディアパーク市川2階グリーンスタジオ

3. 参加費

無料

4. 申し込み方法

申し込み不要、先着150名

5. 主催

新潟医療福祉大学自然人類学研究所・市川市教育委員会

問い合わせ先
生涯学習部考古博物館
館長 杉山 元明
TEL 047-373-2202

シンポジウム

『姥山貝塚の5体 の人骨の謎に迫る』

2024

3月10日(日)

時間 13:00~16:30

会場 メディアパーク市川
2階グリーンスタジオ

©2023UMUT

市川市にある国史跡の姥山貝塚は、全国的にも有名な縄文時代の貝塚です。大正15年、この貝塚で発掘された竪穴住居跡の床面から5体の人骨が出土し、死因や相互の関係、埋葬の有無などをめぐって、議論が巻き起こりました。今回は、この住居跡(B9住居址)出土の人骨を中心として、自然人類学の研究成果や最新のDNAによる分析結果から、新たな解釈の可能性を探ります。

講演1「市川市の縄文貝塚と姥山貝塚」
領塚正浩(市川考古博物館)

講演2「形質人類学から見た
姥山B9号住居址人骨の身体特徴」
水嶋崇一郎(聖マリアンナ医科大学)

講演3「姥山B9号住居址人骨のDNA分析」
水野文月(東邦大学)

講演4「姥山B9号住居址人骨の埋葬状況」
佐宗亜衣子(新潟医療福祉大学)



姥山貝塚の航空写真(中央右下)

参加費無料 先着150名
申し込み不要

問い合わせ 市立市川考古博物館
電話 047(373)2202(担当;領塚)

主催 市川市教育委員会
新潟医療福祉大学自然人類学研究所



©東京大学総合研究博物館

姥山貝塚の5体の人骨(B9号住居址)

※本シンポジウムは、文部科学省科学研究費 基盤研究(B)「縄文家族論の新展開:廃屋墓出土人骨群の血縁関係と埋葬過程の解明」の研究成果の一部に基づくものです。